



椎の木

令和7年1月31日発行 2月号

朝霞市立朝霞第八小学校

〒351-0012 朝霞市栄町5-1-41

TEL:048-465-8381 FAX:048-467-4739

児童数：1,145名

【目指す学校像】教育は子供の未来づくり ～児童に未来を生き抜く力の基礎を育てる学校～



心の中の鬼を追い出す

校長 田中 誠

2月3日は立春。暦の上では春を迎えますが、寒さはまだまだ続くことと思います。風邪や感染症にかからないよう、手洗い・うがい・換気などに取り組み、元気に学校生活を送れるようにしていきたいと思ひます。ご家庭でも健康管理をよろしくお願ひいたします。

さて、立春の前日は節分です。例年は2月3日なのですが、今年立春が2月3日なので、2月2日が節分になります。節分は「季節を分ける」という意味。春・夏・秋・冬と4つの季節があるので節分も4回あるわけですが、特に春の節分は、豆まきの風習とともに私たちになじみ深いものです。私の子供の頃の記憶では風習にはありませんでしたが、今はこの日に恵方巻を楽しむ方も多いでしょう。(恵方巻について諸説あるようですが、江戸時代から明治にかけて大阪で発祥した風習のようで、当時は「丸かぶり寿司」とか「太巻きずし」と呼ばれていたそうです。)

節分の豆まきは「邪気を追い払う」ものです。邪気とは、「素直でない、ねじけた気持ち・性質や悪気、そして人の身に病気を起こすと信じられた悪い『気』」のことを指しています。豆まきは、病気や災難が家から出ていくようにと、「鬼は外」「福は内」と唱えて行いますが、実は外から来る災難だけでなく、人の心の内側の問題もあるのでしょうか。

人間を不幸にする心の鬼は、「感謝を忘れた心」「人に親切にできない無慈悲な心」「人と比較ばかりする心」「家族や友人を大切にできない心」「言い訳ばかりする心」「自分がやらない、できないことを周りのせいにする心」などなど、いろいろなものが考えられます。少し前に流行ったアニメ「鬼滅の刃」の中に出てくる鬼も、もともとは人間であったのが、悲しい過去の出来事が心の持ちように影響し、鬼になったと描かれています。

このように私たちが追い出すべき鬼は、私たちの心の中に潜んでいます。自分自身の考えや悪習慣こそが、私たちの幸福を奪う「鬼」となるものです。お子さんに自分の中の追い出したい鬼は何か聞いてみてください。そして、お子さんと話し合い、一緒になって「鬼は外！」と声を出し、豆まきを試みてはいかがでしょうか。



8の字跳びの練習風景(全学年)

2月13日(木)の大会本番に向けて、各クラスで練習に励んでいます。

- ・各クラス2チームを作り、8の字跳びに挑戦。
- ・3分間で跳べた数を数え足しする。(チャレンジは2回。よい方を記録。)
- ・2チームの合計数をクラスの記録とする。

社会科見学 (5年生)



埼玉県環境科学センター
バーチャル体験



藍染体験
ハンカチを折ってゴム
をかけ染める準備